

佐世保市すこやか子どもセンター「いのちのお話会」

アドバイス集

子どもに性のお話をする時に読んで欲しい



●目 次●

はじめに

佐世保市でいのちのお話会が始まった理由は・・・・・・・・・・P1

子どもから質問があった時・・・・・・・・・・P2

答える時の5つのお願い・・・・・・・・・・P3

【子どもからよくある質問】

生命に関すること・・・・・・・・・・P4

性交に関すること・・・・・・・・・・P5

男女の身体の違いに関すること・・・・・・・・・・P6

月経に関すること・・・・・・・・・・P7

プライベートゾーン（胸・性器・おしり）に関すること・・・ P8～P9

大人と子どもの違いに関すること・・・・・・・・・・P10

いのちのお話会実践スタッフからのメッセージ・・・・・・・・・・P11

はじめに

佐世保市では、市民アンケートの結果や、10代の人工妊娠中絶率が全国に比べてやや高いことなどから、これまで思春期の性の問題に取り組んできました。その中で、もっと早い時期に、いのちの大切さを含んだ性教育への取組みの必要性を感じました。

そこで、平成18年度から佐世保市での「いのちのお話会」の活動を行っています。

「なぜ幼児期ですか」という意見も聞きますが、子ども達は一般的に3歳頃から性別に関することに興味を持ち始めます。3～5歳頃は、大人が考えるほど感情的なわだかまりもなく、知的好奇心にあふれているので、身体についての知識も他のことと全く同じように受け入れます。子ども達は自分の受け皿以上の話は吸収しませんので教えすぎるということはありません。子どもが誤った情報で土台を作る前に・・・もし入った場合でも正しい選択ができるために、あえてこの時期には始める必要性を感じています。

ご家庭の中で性に関する話も、日常会話の一つと考えていただければと思っています。「いのちのお話会」がそのきっかけのひとつになればと願っています。

このアドバイス集は、これまで佐世保市で実践した中で保護者の方々からいただいた質問や疑問、ご意見も入っていますのでより身近なものとして感じていただければと思っています。

お子さまと性に関するお話をする時に、この「アドバイス集」が、少しでもお役に立てれば幸いです。



子どもから質問があった時 まずは気づきをほめてあげてください。

子どもから性について突然質問されると、大人は驚いてしまうかもしれませんが、子どもはどんな気持ちで質問しているのでしょうか？

男女の体の違いについて聞くことは、自分とほかの人との違いをわかり始めてきた証拠です。ですから、自分にはおちんちんがあるのに、お母さんや姉妹にはないということが不思議に思うのだと考えます。

子どもはほかの不思議に思うことと同じように性の質問をしているのです。大人の思惑や目線だけで、子どもの質問をとらえないことが大切になります。

子どもから性について聞かれたら「そうだね、すごいね、よく気づいたね！」とまずはほめてあげてください。そして「どうしてそういうふうに思ったの？」と聞いてみてください。すると、会話の中で子どもは何を疑問に思っているのかわかると思います。

大切なのは子どもの質問に一步引いたり、拒絶したりせず向き合うことだと思います。



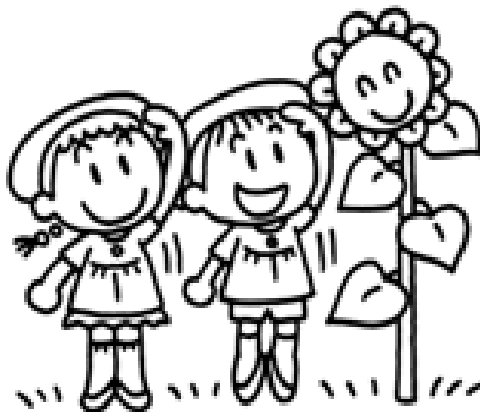
●答える時の5つのお願い●

1. うそをつかない
2. 逃げない
3. 怒らない
4. 無理して答えない
5. 自分の使える言葉

子どもから質問があった時に大切なことは、嘘をついたり、逃げないことです。嘘をついたり、子どもの質問から逃げたりすると、子どもは「性は聞いてはいけないことなのだ」と感じてしまうかもしれません。答えがわからなければ、「今はうまく答えることができないから、勉強してから教えるね」と子どもに一言伝え、園の先生や医療関係者に対応方法を聞いてから答えても、子どもは納得すると思います。大切なのは、きちんと子どもの質問に向き合うことだと思っています。

また、説明の仕方も無理せず、保護者の方が使いやすい言葉で伝えてみて下さい。

これから、子どもから「性」についての質問・行動に対して伝え方の一例をあげますので参考にいただければと思います。



・・・・・・・・・・・・・【子どもからよくある質問】・・・・・・・・・・・・・

★ 生命に関すること



《よくある子どもからの疑問・質問》

Q1. 赤ちゃんはどんなふうに生まれてきたの

Q2. 私は、どうやって生まれてきたの

Q3. (結婚式の写真をみて)このとき僕はどこにいたの

【お子様にお話しをする時のアドバイス】

➡ Q1・Q2については、

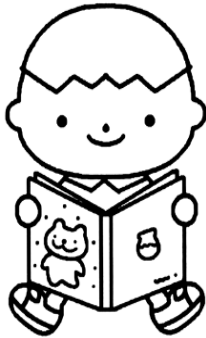
「大人の男の人と大人の女の人はお互い大好きで、ぎゅっとすると、お互いのいのちのもとが近づくの。そしてお互いのいのちの元が一緒になった時、赤ちゃんの命がはじまるんだよ。赤ちゃんのいのちは、お母さんのお腹でだんだん大きくなって、お腹の外に出られる準備ができると、赤ちゃんの通り道から生まれてくるんだよ」と伝えてみてはいかがでしょうか。

また、「あなたは周りの人たちみんなが本当に喜んでいる中で生まれてきたんだよ。あなたが生まれた時、本当にうれしかったなあ」など生まれてきた時の状況や感情も一緒に話してみてはいかがでしょうか。

➡ Q3 については、

「この時はお父さんとお母さんの命のもととは出会っていなかったけど、この後にお父さんとお母さんは赤ちゃんが欲しいなあと思って〇〇ちゃんに会えたんだよ、その時は本当にうれしかったなあ」と伝えてみてはいかがでしょうか

★ 性交に関すること



《よくある子どもからの疑問・質問》

Q1. セックスってなに

Q2. 赤ちゃんはどこからきたの

【お子様にお話しをする時のアドバイス】

子どもの問いの答えが性交であるからと言って、子どもが大人の知っている性交の全てを答えとして求めているわけではないと思います。

性交そのものを尋ねているというより、どうして生まれてきたのかといったニュアンスであることが多いのです。

そのため、子どもから性交に関する質問があった場合には「どうしてそう思うの」と問いかけ、子どもの質問の真意を聞き、答え方を決めてはいかががでしょうか？

答え方の例として、4ページを参考にいただければと思います。

★ 男女の身体の違いに関すること



《よくある子どもからの疑問・質問》

**Q1. 男の子にはおちんちんがあって、
女の子にはどうしておちんちんがないの**

【お子様にお話しをする時のアドバイス】

⇒ Q1 については、

「女の子のおちんちんは、男の子のおちんちんのように外から見えないけどちゃんとあるんだよ、女の子にはおしっこが出る所とうんちが出る所の間に、赤ちゃんの通り道があるんだよ。大切にしようね」

「男の子のおちんちんも、女の子のおちんちんも、自分だけの大切な所だから、いつもきれいにしておこうね。」と、伝えてみてはいかがでしょうか。

おちんちんの洗い方については下記を参考にしてください。

女の子の場合：前から後ろの方に向かって洗う

男の子の場合：おちんちんの先を亀頭部が見えるように翻転（むいて）させ、中の方まできれいに洗う。
この時痛がる時は無理してむかないようにしてください。

★ 月経に関すること

《よくある子どもからの疑問・質問》
Q1 どうしてお母さんは血が出ているの
Q2 どうしてオムツ(ナプキン)をしているの



【お子様にお話しをする時のアドバイス】

➡ Q1・Q2については

「女の人、赤ちゃんを育てるためのお部屋をお腹の中に持っているんだけど、大人になったら、時々そのお部屋のお掃除をして、いらないものと一緒に血も出て来るんだよ(女の子の場合は：“あなたも大人になったらそうなるんだよ”と一言添えて話してあげて下さい)。血が出ているけど、ケガや病気ではない、ということを伝え、子どもを安心させてあげることが大切であると考えます。

ナプキンについては「そのためにパンツを汚さないようにオムツ(ナプキン)をしているんだよ。」と答えてみてはいかがでしょうか。

【お子様が初経(初潮)を迎えられる時には…】

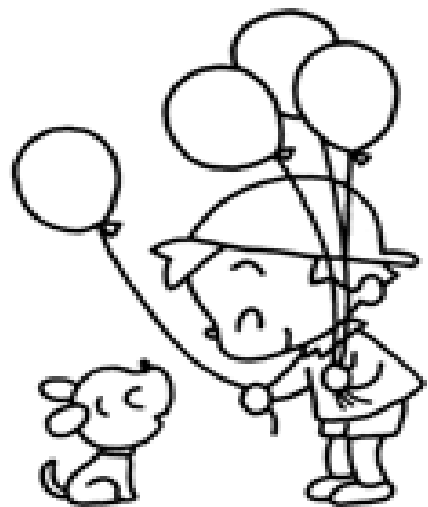
平均 10～15 歳くらいに初経を迎える事が多いです。お子様が突然の初経に驚くことがないように、お話していただければと思います。

日頃からお子様のちょっとした変化(身長・体重が急に増えた、胸のふくらみ、おりものによる下着の汚れなど)に気がけてあげて下さい。変化に気がついた時は、月経は、新しい命を産むことができる、女性だけに与えられた大切な身体のしくみであることを伝えて、困った時は何でも相談して欲しいことをぜひ伝えてあげてください。

★ プライベートゾーン(胸・性器・おしり)に関すること

《よくある子どもからの疑問・質問・困った行動》

- Q1.性器に興味を持ち自他の性器をいじったり、触ったりする**
- Q2.ふざけたり面白がって自分の性器を見せることがある。**
- Q3.人の排便の様子を見ようとする**



【お子様にお話しをする時のアドバイス】

3～4歳頃から、言葉の理解ができるようになり、知的能力が高まっていく時期です。そのため、好奇心からさまざまな事柄に関心や疑問を持ちます。幼児にとっては、「性器」だから特別という訳ではなく、興味・関心のあることの一つとして性器いじりも考えられます。

今の段階では、怒ったり叱ったりして止めさせたり、拒否的な行動をとるのではなく、自然なこととして受け止め、見守ることが大切だと思います。でも人前で性器をいじることは好ましいことではありません。

良いマナーやプライバシーについては、話しておいた方がよいと思いますので、「プライベートゾーンは人に見せてはいけなかったよね」と一緒に確認した上で、プライベートゾーンは面白がって他人に見せたり、触らせたりしてはいけない事、他人のものを見たり触ったりしないようにする事を伝えるとよいのではないのでしょうか。

また、目や耳など他の身体の部分と同じくらい大切なところで、特に将来赤ちゃんが生まれる時や育てる時に必要なもので大切にして欲しい事も合わせて伝えるとよいと思います。

性被害の防止については、知らない人に「見せて触らせて」と言われても、上記の様にプライベートゾーンは自分だけの場所があるので、他人が見ようとしたり触ろうとしたら「やめて」と拒否することが大切であることを伝えてください。

「プライベートゾーンについて」

私たちは、胸・性器・おしりを合わせて、自分だけの大切な場所であるという意味で「プライベートゾーン」と称してお話しましたが、ご家庭でお話しをされる場合には「大切な所」など、保護者の方々が使いやすい言葉でお伝え下さい。

★ 大人と子どもの体の違いに関すること



《よくある子どもからの疑問・質問》

Q1. どうしてお母さんはおっぱいが大きいのか

Q2. どうして(性器に)毛が生えているのか

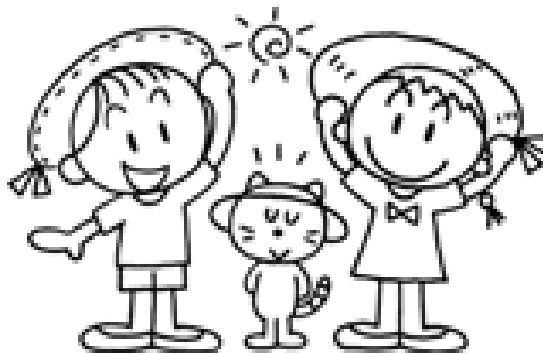
【お子様にお話しをする時のアドバイス】

➡ Q1 については、

「お母さんは、赤ちゃんを産むと、赤ちゃんにお乳を飲ませるためにおっぱいが大きいんだよ」と答えてみてはいかがでしょうか。

➡ Q2 については、

「いのちのもとがある大切なところだから、(毛が生えて)守ってくれているんだよ」というように伝えてみてはいかがでしょうか。



いのちのお話会実践スタッフからのメッセージ

一人の大切な人間として家庭の中で育まれる
信頼関係が性教育の土台となってきます。
「あなたは大切な存在」と感じさせることによって
自分自身やまわりの人を大切に
できるのではないのでしょうか。



最後に

「いのちのお話会」ならびにこのアドバイス集は、平成13年から東京にて、幼児向け性の健康教育に取り組まれている、元東邦大学教授の竹内先生のご協力を得て実施・作成しております。

【お問い合わせ】

佐世保市すこやか子どもセンター

電話 24-1111（内線 5451～5455）